

利用者さん主体の

デイケアを目指して

老健デイケア 荒木 美恵子

老健デイケアもスタートから二年四カ月経過しました。ご利用のみならず

まも楽しんでおいで下さっています。老健デイケアが目標としている『自分で出来る事は、自分で行う』ようになるために、みなさんが意欲を持ち、積極的に参加できるデイケアを目指して行きたいと思っています。

利用者のみなさまとの共同作業

ゴーヤ栽培

老健デイケアの窓に差し込む陽射しを和らげようと、利用者のみならずとも話し合い、ゴーヤを育



てることにしました。

老健デイ利用者のみなさんには男性が多く、農家の方も多いため、植え

る時期、土のこと、水やりのタイミング、肥料などの確かなアドバイスを受け、とても心強いです。植えてからは「今日はどこまでのびた?」「花は咲いたか」「実はでき

たか?」など毎日話題にのぼり、みんなの楽しみ

になっていきます。これまでに実ったゴーヤは八個。希望されるかに差し上げました。どんな料理になったのか? また楽しい話題が増えそ

うです。

ケアワーカー 西畑 小百合

市民公開講座

糖尿病教室を開催します

糖尿病の怖さ、糖尿病と認知症の関係

どなたでもご参加いただけます

で治療が必要と言われてもそのまま放置している人さえ少なくありません。

一般には死に直結するイメージは薄いですが、治療が遅ければ三大合併症(糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症)になります。年

間380万人以上が、合併症などで死亡しています。世界のどこかで10秒に1人が糖尿病に関連する病で命を奪われている計算となり、AIDS

による死者に並ぶ数字だとも言われます。そんな怖い病気について、名古屋大学老年科の柳川まどか医師からお話を聞きます。老年科の経験を生かして、糖尿病と認知症の関係もお話しいただきます。深刻な合併症をもたらす糖尿病につ

公開講座 糖尿病教室

講師: 柳川まどか医師

テーマ: 糖尿病の怖さ・糖尿病と認知症

日 時: 10月14日(金) 14時

場 所: 千秋病院研修室

外来看護師 河橋直美

ペットボトル症候群とは?

暑い夏。どうしても冷たい飲み物を飲みたくなります。もちろん水分補給は大切ですが、糖分の多い清涼飲料水を大量に飲み続けていると、『ペットボトル症候群』に陥る危険性があります。



続 編

ペットボトル症候群

糖分摂り過ぎに「ブ」注意

クに入っているジュースなどでも同じです。

ペットボトル症候群のメカニズム

① 継続して大量に清涼飲料水を摂取 ↓
② 血糖値が上昇 ↓



2Lでステイックシュガー60本分にも

手軽なペット飲料ですが、市販のジュース類の多くには500ccの一本あたり50g程度、スポーツドリンク

gのステイックシュガーで約60本分にもなるのです。

お茶や水を飲むなど、上手に水分を補給しましょう。(千秋病院 臨床検査科)

千秋病院のご意見箱から

【ご意見】

会計での支払いが必要な私ですが、薬が必要ですが、薬が必要で、会計係が新人の方で、催促してもなかなか呼ばれません。別の方に二度目の催促をしたら、書類が横においたままになっていました。新人の方にも正しく引き継ぎをお願いします。

ご指摘ありがとうございます。患者様の待ち時間を極力短くすることとあわせて、どうしても発生する待ち時間の苦痛への配慮の取り組みなどとしてきております。ところがこの度、ご指摘のような事態になりましたこと申し訳ございません。まして、甚だ遺憾に受け止めております。特に今

回の出来事は、職員の実験年数や不注意などが重なりあって発生したことであると考えています。会計窓口複数名配置、繰り返しのお呼び出しなど更に工夫をしてまいります。今後ともお気づきの点など、遠慮なくご指摘下さい。よろしく申し上げます。事務局長 椿 逸雄